

2006 年度

科目名 文化財研究法 2A	対象学科・学年 文学部文財 2 回生	担当者 小林 典子
授業テーマ 西洋美術作品を通してみる文化財研究入門Ⅱ		
授業の概要と目標 文化財とは何で、その研究方法とはどのようなものであるのか。西洋の絵画・彫刻・建築作品という具体的な表現媒体をとりあげながら、文化財研究に必要な基礎的知識と分析の方法を学習します。文化財研究をはじめるにあたってとりわけ重要なのは、素材である作品群をまず見ること、知ることであり、ついで、各作品に即した解釈の知識と方法を学ぶことにあります。授業では、ルネサンスから現代までの一級の作品を、ビデオをはじめとする視聴覚メディアを用いつつ観賞しながら、現時点に至るまでの作品研究史を概観していきます。		
評価方法 授業への参加意欲や小レポート 40% 期末レポート 60%		
テキスト	著者	出版社
参考書 『美術の歴史』 授業中に適宜指示	著者 H・ジャンソン&カウマン	出版社 創元社
授業スケジュール・内容 1.開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション 2～7「西洋美術作品を知る」 Ⅲ ルネサンスとバロック ⑤マニエリズムとその他の傾向 ⑥北方ルネサンス ⑦バロック美術 ⑧オランダ絵画の黄金時代 ⑨ヴェルサイユ時代 ⑩ロココ美術		